

愛仁会リハビリテーション病院 広報誌

あいりハ plus

再びその人らしい生活に



夏号
2025.7

vol.113

特集 リハビリ最前線

vol.5 疾患別のリハビリテーションー脊髄損傷ー

特集リハビリ最前線

vol.5 疾患別のリハビリテーション 脊髄損傷

当院では急性期治療を受けた後に、体力や機能を回復させるための専門的なリハビリテーションを行っています。リハビリテーションには、理学療法（手足を動かす練習や歩く練習など）、作業療法（日常生活動作の練習）、言語療法（話す練習や食べる練習など）の3種類があり、患者さんの症状に合わせた様々なリハビリテーションを行うことにより、在宅や社会への復帰を目指す患者さんを支援しています。

今号では、脊髄損傷発症からその後に起こり得る後遺症に対するリハビリテーションまで、詳しくご紹介します。

● 脊髄損傷ってどんな状態？

脊髄損傷とは、脊椎中にある脊髄と呼ばれる神経が圧迫されることで起こる障害です。脊髄は、背骨(脊椎)に保護される形で脳幹の直下からみぞおちの下あたりまで伸びている臓器で、脳からの司令を筋肉に伝える役割をもっています。そのため、損傷した脊髄から下の体の部位に様々な障害が生じます。

以前は交通事故や高所からの転落事故によるものが多かったのですが、近年は高齢者の転倒や転落によるものが多くなっています。

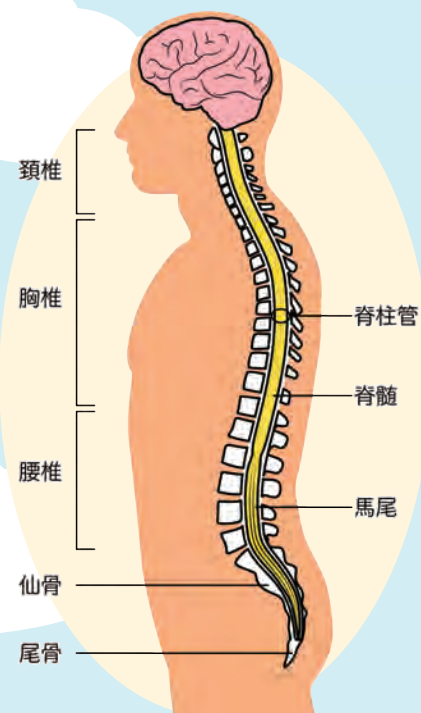
予期せぬ形で生活が激変するだけでなく、将来への不安も伴い、精神的なダメージにもつながりやすいことから、包括的なサポートが重要です。

● 脊髄損傷で起こり得る主な後遺症

運動麻痺：筋肉や手足の自由がきかなくなる。

感覚障害：触感や熱さ冷たさが感じられなくなる。

自律神経障害：体温調節や排泄などの機能に問題が生じる。



多職種チームによる連携が肝！

脊髄損傷後のリハビリテーション治療は、残存機能を最大限に活かし、日常生活の自立を支援する治療です。四肢体幹の機能だけでなく、呼吸・消化器・排尿・痛み・痙攣・褥瘡予防など対応すべき点は全身に及び、精神的ケアや社会制度を駆使しながらの退院、その後の長い人生をも視野に入れた治療になります。

重要なのは、急性期から慢性期までの継続的な取り組みであり、多職種チームによる連携と個々の患者さんの状態に合わせた個別プランが不可欠である点です。常に最新の医療的知見に基づき、より効果的なアプローチを模索しています。



診療部 松岡 美保子 医長

● リハビリテーション看護

感覚麻痺、運動障害、自律神経障害により、自分の意思でしたい時に排泄が困難となることがあるため、排泄の管理が必要となります。また、痛みを感じにくいため、皮膚トラブルも生じやすい状態です。患者さん自身に自覚症状が無い場合でも、全身の状態変化を見逃さないよう、日々観察やケアを行っています。

また、退院後の生活や社会復帰を見据え、排泄管理や皮膚管理について患者さんやご家族と一緒に考え、心地よく生活できるようサポートを行っています。



▲皮膚管理のため除圧を行う様子



障がい者病棟 看護師
上田 葉那

リハビリで身につけた排泄や更衣動作、食事動作など、ご自身でできることを他職種と連携を行うことにより、日常生活へとつなげていくことが看護において大切であると感じています。



障がい者病棟 看護師
熊本 菜々子

● リハビリテーション（理学療法）

身体機能の向上を目指し、長下肢装具や免荷式トレッドミルなどの機器を用いて、歩行の獲得や歩行の安定性の向上を目指し、歩行練習を行います。

また、麻痺が重度な方に対しては、車椅子の駆動や乗り移りの動作の練習、お身体に合った車椅子の作製支援などを行い、車椅子での生活が安全に快適に送れるようなリハビリテーションを提供します。

当院では、他の入院されている脊髄損傷の患者さんとスポーツを行う機会があり、交流を広めることができます。



理学療法士
辻 成一郎

● リハビリテーション（作業療法）

腕の動きをサポートする補助具を使って上肢機能の改善を図るとともに、食事や更衣、排泄の動作練習を行うことにより、可能な限り自立した日常生活が送れるよう支援します。

また、自助具の作成（万能カフや改良ズボンなど）や環境調整（ベッド周囲や退院後の生活環境など）にも関わりながら、残存能力を最大限に引き出し、生活の質向上を図ります。

ショックウェーブによる体外衝撃波や電気刺激を用いて、上肢機能に対する痙性の軽減や筋再教育、拘縮予防なども行っています。



作業療法士
小日向 和弥



▲車椅子の乗り移りの動作練習

リハビリテーション

脊髄損傷のリハビリテーションには、残っている筋力を維持・強化するリハビリテーション（運動療法）と合併症を予防するリハビリテーション（床ずれ、関節拘縮予防）の2種類が必要です。その後は平行して、座位の安定に向けたトレーニングも行います。麻痺の程度に応じ、独歩、杖歩行、車椅子での自立など、さまざまなゴール（目標）に向かい、残っている機能を最大限活用できるようにリハビリテーションを行います。



▲補助具を使った手を動かす練習

● 公認心理師

気持ちの整理をサポートします

体の変化は心にも大きなショックを受けます。悲しみ、怒り、はかりしれない喪失感で心の中がいっぱいになる方もいらっしゃいますし、これからどのような生活になっていくのかということを想像すると不安にもなります。

そのようなときに、気持ちが少しでもやわらく方法がないかを一緒に考えつつ、今どのような気持ちでいるのか、何に困っているのかということやうかがいながら、気持ちの整理をサポートします。そして、ご自分らしさもありながら新しい生活を少しずつ築いていく準備をお手伝いしています。



公認心理師
佐野 恵子

精神的なケア

脊髄損傷は生活のあらゆる面に大きな変化をもたらします。突然の身体機能の変化や長期間にわたるリハビリ、場合によっては仕事や家庭環境の再構築などが重なり、強いストレスを感じる患者さんは少なくありません。そのような際、公認心理師やソーシャルワーカーが患者さんに寄り添い、精神的なケアを行っています。

● ソーシャルワーカー

様々なご相談に対応します

突然の怪我や病気で入院となったとき、経済的な問題（治療費支払い、収入の減少）や社会的な問題（就学、就労困難）といった様々な困りごとがでてくる場合があります。

当院では患者さん・ご家族が安心して治療に専念できるよう、入院時より医療ソーシャルワーカーが様々なご相談に対応しています。また、社会保障・福祉サービスを活用して退院後の生活に必要な住宅環境の整備やサポート体制、復学、復職といった社会復帰に向けた支援も行っています。



ソーシャルワーカー
田中 裕美子

運転評価外来のご案内

当院では2024年から、大阪府が行う「高次脳機能障がい者の自動車運転評価モデル事業」（大阪府自動車運転評価モデル事業）の連携機関となり、運転評価外来を始めました。



大阪府自動車運転評価モデル事業とは

脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）を受傷後に高次脳機能障がいの診断を受けている方が運転免許証の更新を行う際、大阪府公安委員会に提出するための「診断書（様式7）」を取得することを目的とした事業です。

運転評価外来では、医師による診察、神経心理学的検査、自動車教習所での適性検査・実車評価を行い、医師の診断書の作成を目指します。実車評価を行うことにより、紙面での評価（神経心理学的検査や適性検査）だけでは見いだせない問題点を見つけることができます。自動車運転には社会的に重い責任が伴うことから、慎重に評価を行う必要があるため、評価結果によっては診断書が作れない場合もあります。



主治医、作業療法士、言語聴覚士が担当します

運転評価外来の対象となる方

- ① 大阪府自動車運転評価モデル事業からのご紹介の方
- ② 高次脳機能障害の診断があり、医師の診断書の提出を求められている方で、当院に入院歴のある方

受診の流れ

事業の説明

医師の診察

神経心理学的検査の実施

適性検査・実車評価の実施

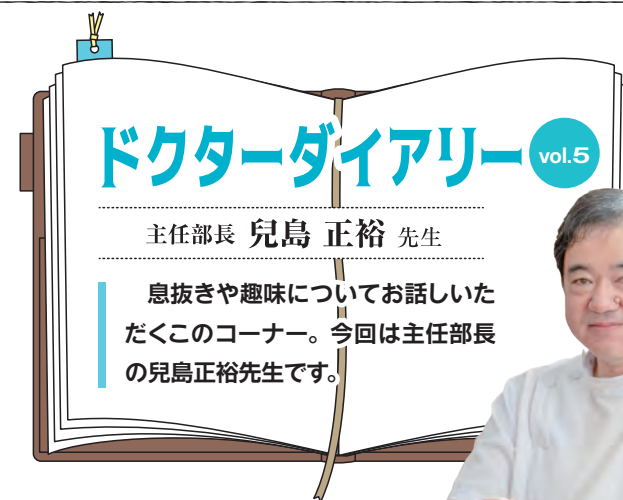
医師診断書の作成のための受診

運転評価外来に関するご相談・ご予約はこちらまで

愛仁会リハビリテーション病院

072-683-1212

ホッとひといき



主任部長 児島 正裕 先生

息抜きや趣味についてお話した
だこのコーナー。今回は主任部長
の児島正裕先生です。



JR伊集院駅前の島津義弘公像

私は模型制作・ラジコン作り、お菓子作り、フィギュア収集など、自分でも多趣味だと思っています。そのさまざまな趣味の一つに歴史の史跡巡りがあります。歴史上の出来事や偉人たちの足跡を追い求めての旅には、時空を越えた体験の楽しみがあります。

ところがいつしか訪問先の写真や動画を撮影するのみでは飽き足らなくなってしまい、今は御朱印集めに熱を上げるようになりました。日本の史跡は神社仏閣に絡むことが多く、参拝とともに、史跡巡りの証の一つとして御朱印を頂いています。

最近ではアート作品のような御朱印も増えてきており、このような御朱印を集めるのも楽しみの一つです。先日のGWには、九州の戦国と幕末の史跡を訪ねて来ました。体力と金力が必要なのが玉に瑕ですし、家族には古くさい趣味だと言われることもあります。参道の長い石段を上り下りすることで、日頃の運動不足が解消されて、身体も心もリフレッシュして若返る心地がします。

みなさんも是非体験してみたいはいかがでしょうか。

管理栄養士に聞く！ 今年の夏を乗り切る！ 「だる重～」を吹き飛ばす ビタミンB1パワー

栄養管理科 | 杉田 寛子 副主任

今年の夏も猛暑の予報が出ており、熱中症はもちろん、「体がだるい」「食欲がない」といった夏バテも心配な季節です。夏バテの原因の一つは、暑さで体のエネルギー消費が増える一方で、十分なエネルギーが作られないことです。



そんな夏バテ予防には「ビタミンB1」がおすすめ！
ビタミンB1は、糖質からエネルギーを作るのを助ける
栄養素で、疲労回復や食欲アップに役立ちます。

ビタミンB1を多く含む食品は、豚肉、うなぎ、大豆（納豆や豆腐なども含む）、玄米や全粒粉パンなどです。

ビタミンB1をとる工夫

- 素麺や冷麺に「豚しゃぶ」をプラス：豚肉をさっと茹でてのせるだけ。茹で汁にはビタミンB1が溶け込んでいるのでスープや料理に使うとさらにGOOD！
- 豚肉の野菜炒め：ビタミンB1の吸収を助ける玉ねぎ、ニラ、にんにくを加えて！
- いつもの白ご飯に玄米や雑穀米を少し混ぜて！
- 食パンや菓子パンの代わりに、全粒粉やライ麦のパンを選んでみましょう！

逆に、冷たい食べ物や飲み物を摂りすぎると食欲低下や消化不良に繋がることがあるので、夏こそ常温のお茶やお水、温かいスープなども上手に取り入れてくださいね。
今年の猛暑もしっかり食べて乗り切りましょう！

健康栄養教室のご案内

- **開催テーマ** 高齢期の糖尿病 しっかり食べる食事術
- **開催日** 8月21日(木) 第1回 今日から変わる『食べる』糖尿病食
9月18日(木) 第2回 外食・おやつも楽しむワザ!
- **開催時間** 10時～11時
- **開催場所** 当院3階「愛仁会ふれあい広場」

地域住民の方を対象に月に1回、健康栄養教室を開催しています。

8月、9月のテーマは「高齢期の糖尿病 しっかり食べる食事術」です。

参加無料ですので、ぜひお気軽にご参加ください(当日参加可)。

2026年3月まで毎月開催! ホームページやSNSでも随時ご案内します!



年間スケジュールは
こちら

SNS開設のお知らせ

愛仁会リハビリテーション病院 公式youtube開設!

愛仁会リハビリテーション病院についての情報を幅広く投稿していきます。チャンネル登録をよろしくお願いいたします。ます♪



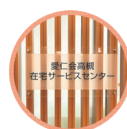
社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院
@aikenha-channel
大阪府高槻市にある愛仁会リハビリテーション病院のYouTube公式チャンネルです。さらに検索
チャンネル登録

愛仁会リハビリテーション病院



高槻在宅サービスセンター 公式Instagram開設!

『安心の在宅介護をお届けします』をモットーに、ご利用者さまと、地域の皆さまの笑顔あふれる生活をサポートしたいと思っています。そうした日々のサービス内容やスタッフの活動をお届けいたします。ぜひ、フォローしてご覧ください。



ID: ajk_takatsukizaitaku
フォローはこちらから▶



看護師・助産師を目指しませんか? 愛仁会看護助産専門学校オープンキャンパスのご案内

卒業生が多数在籍している愛仁会リハビリテーション病院などの愛仁会の施設で実習ができ、独自の奨学金制度など安心できるバックアップ体制を整えています。もちろん国家試験合格率も高く、資格取得まで手厚くサポートさせていただきます。まずはオープンキャンパスにお越しいただき、在校生から生の声をお聞きください。お待ちしております!

オープン
キャンパスの
詳細はこちら



オープンキャンパス 2025当面のスケジュール

看護学科	8/2(土)	10:00～12:00	学校説明会	助産学科	8/2(土)	10:00～12:00	・学校概要・在校生、卒業生との交流会
	8/23(土)	10:00～12:00	看護学生体験		8/22(金)	10:00～12:00	・授業体験・学校施設見学
	9/27(土)	10:00～12:00	学校説明会		9/27(土)	10:00～12:00	・学校概要・在校生、卒業生との交流会

編集後記

今号の特集リハビリ最前線では、脊髄損傷リハビリをご紹介します。松岡先生の「多職種チームによる連携が肝!」という言葉のとおり、多職種がチームとなってリハビリテーション医療に取り組んでいます。ぜひご覧ください。そして今号の表紙を飾るのは、脊損チームの皆さんです。暑い夏に「涼」を感じていただけるよう、波乗りをイメージして作成しました。皆さまも上手に「涼」をとり入れながら、押し寄せる「暑い夏」という波を乗り越え、健やかな毎日をお過ごしください。

広報室 加藤 友恵

アンケートにご協力ください!



愛仁会リハビリテーション病院

三島圏地域リハビリテーション地域支援センター

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7 TEL 072-683-1212

<https://www.aijinkai.or.jp/reha/>



ホームページ



インスタグラム



フェイスブック



読者アンケート